

大いちょう

令和6年10月31日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

親子ふれあいフェスティバル②（運動会）へのご参加ありがとうございました。



10月19日（土）には、親子ふれあいフェスティバル②（運動会）が開催されました。

土曜日の天気が怪しかったため日曜日に延期しましたが、この上ない運動会日和となりました。大勢のご家族に見守られて、一人一人がその子らしさを見せてくれたのではないのでしょうか。

特に3歳児の子どもたちは、大勢の観客に圧倒されて、日頃の姿が発揮しきれなかったお子さんもいらっしゃったと思います。それも、今のありのままの姿です。そんな中で、みんなの前に立てたことを認めてあげただけなら幸いに思います。

4歳児は、思い切り走ることやぶら下がること、合図をよく聞いてスタートするなど、一見簡単そうですがやはり3歳児に比べて、1年先輩の姿を見せることができたように思います。



5歳児は、当日までの取り組みの中で、初めは意欲のない姿やなんとなく参加していた姿から、少しずつ「勝ちたい!」という目的意識をもつようになり、「そのためにどうしたらいいのか」を、何度も何度も話し合うようになっていきました。作戦を立てその通りに実践してもなかなか思うように結果が出ないこともあり

ました。作戦を決めたのに、友達が失敗すると怒ってしまう姿もありました。でも、徐々に一人の頑張りよりもみんなで力を合わせることが大切であることが分かってきて、怒るよりも励ますこと、応援すること、悔しい気持ちがみんな一緒であること、だからあきらめないこと、何よりもみんな

で気持ちを一つにすることなどを感じ取っていきました。怒ったり、泣いたり、笑ったりして味わった、悔しい気持ち、悲しい気持ち、羨ましい気持ち、嬉しい気持ち、楽しい気持ちなど、すべての経験がこれからの子どもたちの糧となることでしょう。当日の結果よりも何よりも、大切なこの心の成長のプロセスを、一番に認めてあげてくだ





さい。

特に、今年度は新しく「運動会ウィーク」を設けたことで、子どもたちは、大人と一緒に一生懸命頑張る姿を見せてくださったことにより、意欲が高まっていきました。大人の本気や大人が率先して楽しむ姿の影響の大きさを感じさせていただきました。雰囲気もものすごく盛り上がりましたね。大人の本気と言えば、当日も卒園児によるドッジボールやおじさんによるリレーなど、多くの本

気を見せてもらいました。人間は感化される生き物です。憧れの気持ちはやがて、自分たちが「やりたい」という気持ちに繋がります。その意味でも、多くの「本気」を見せてくださったことに、心から感謝いたします。

親子ふれあいフェスティバル②（運動会）を無事開催することができたのも、当日だけでなく、それまでの取り組みの中でも、快く校庭を貸してくださった小学校の先生方、児童の皆さんのおかげです。心から感謝いたします。また、テント設営ボランティアを募集した段階では7人のおじさんの参加となっていました。当日の朝には19人のおじさんが集合してく



ださいました。片づけのときには、保護者の皆様が快く、器具を運んでくださり、汚れた遊具を雑巾で拭いて、所定の場所まで戻してくださいました。こうして惜しみなくご協力くださる保護者の方々に大切にされている子どもたちだからこそ、こんなにも素敵な姿を見せてくれたのでしょうか。保護者、ご家族の皆様の温かいご支援・ご協力のおかげで無事に終えることができました。本当にありがとうございました。



テクノランド最高に楽しかった！！

10月3日（木）には、岐南工業高等学校との交流である「テクノランド」が開催されました。今年度は、「テクノランド」を迎えるにあたって、7月の夏祭りまでの取り組みの中で、5歳児を中心に乗り物について探究心や創造力を深めてきました。そのため、5歳児にとっては特に自分たちが作ってきた乗り物との比較ができ、高校生たちの作品に触れたり、体験したりする中で、更に刺激を受け、憧れの気持ちを抱くことができました。4歳児、3歳児にとっても、まさに「夢の国」の一日となりました。

子どもたちも「こんなに楽しいなんて、もう嬉しすぎる。」「もうずっとテクノランドがあったらいいのに…」、

「僕たちも動く電車をつくりたいな!」、「そうだ、秋祭りをやればいいんじゃない?」など、心が弾む意見が多く聞かれました。

実は、高校生や先生方が、前日まで、玉入れのスコアボードの得点がうまくできずに、21時～22時までかけて、微調整を繰り返



し行ってくれていたそうです。「小さな子どもだから」、「どうせわからないから」というとらえではなく、真剣勝負で「テクノランド」の準備をしてきてくれたことで、高校生にとっても、実りの多い一日となったようでした。

遠足に行ってきました！！



10月25日（金）は、天候に恵まれ最高の金華山登山となりました。参加した子どもたちがそれぞれのペースで、挑戦し続け見事登頂することができました。無事、登山・下山できたのも遠足ボランティアのお父さん方が、涼しい顔でヒョイヒョイと一緒に登ってくださったおかげです。ものすごく安心感がありました。おかげで、誰一人滑落することもなく、最後まで、やり切ることができたのだと思います。

本当にありがとうございました。私は、年々「しんどいなあ」と思いますが、行きはA君がずう〜っと「くらげ」や「きのこ」の話をしてくれていたことや、Bちゃんがずう〜っと「危険生物」の話をし続けてくれたこと、C君が「防火用水」の番号を探し続けてみんなに知らせてくれたこと、励ましてくれたこと、帰りは、D君が、実況中継し続けてくれたこと、E君が面白いことを言い続けてくれたこと、F君がステッキを遊び（ジェットコースターごっこ）に変えてくれたことなどにより、疲れを忘れさせてもらえた



おかげで、無事ゴールまでたどり着くことができました。それにしても、加納幼稚園の子どもたちは、ずう〜っと話し続けることができる子が多いですね。「そりゃ喉も乾くでしょう…」と思いました。コミュニケーション能力、かなり高めです。「長良川球場」が見えたときに、「あそこに大谷翔平が来るのか…」の話題が面白かったです。まあ、ドラゴンズもドジャースもおんなじようなものですよ…（笑）



10月30日（水）は、アクアトトに出かけました。こちらも天候に恵まれ、最高の一日となりました。いつもとは異なる場所での集いに、少し緊張気味の子どももいましたが、時間が経つにつれていつもの元気な子どもたちになり、わくわくが止まりませんでした。特に、4歳児の子ども



たちは、実際に清水川で捕まえたり、飼育したりしている「オイカワ」や「タモロコ」、「カマツカ」、「ヨシノボリ」、「ヌマエビ」



などを見付けると、水槽に張り付くように目をキラキラさせていました。幼稚園で飼育している魚に比べて大きく、「オイカワ」は婚姻色がとてもきれいでいるものもあり、ずっと見ていられました。あと、「カエル」は、

不動の人気を集めていました。毒をもつキオビヤドクガエルやアイゾメヤドクガエルは、とてもきれいでこの世のものとは思えない美しいカエルです。でも、毒をもっているんですね。始まりのクイズでは、3歳児も物怖じせずハキハキと答えていました。3歳児のAちゃんも、挙手して、みんなの前で堂々と答えていました。こんな姿を見ると、一人一人の子どもが大きく成長したなあ…と感慨深く思います。



5歳児も4歳児も3歳児も、おうちの方の温かい手作りのお弁当、本当においしそうに食べていました。朝、早くからお弁当をご準備くださり、送迎をしてくださったこと、本当にありがとうございました。おかげで、どちらも楽しすぎる遠足となりました。



加納小学校の校長先生のお話を伺いました！！

10月9日（水）に、加納小学校の校長先生より、「就学に向けてのお話」を伺いました。年長児の保護者の方がお集まりくださり、素敵な感想をお寄せいただきましたので、一部ご紹介します。

「第一子のため、卒園後のイメージが難しかったところ、今回の講話で学校生活をどのように見守ればよいのか参考になりました。（略）」、「子どもを一人の人間として尊重するということが、先回りしすぎないという言葉がグサッと来ました。本当にその通りだけど、自分はできていないと感じるので、改めて自分の子どもへの接し方を見つめ直したいです。（略）」、「（略）幼小中の学びのつながりを知ることができ、大変参考になりました。親として、子どもがこの社会の中で1人（“独り”ではなく）で生きていく力を身に付けられるように子育てしているつもりです。基礎学力を基にして、それをいかに活用し、表現し、自己実現をしていくか。学校の先生方には日々の業務だけでもご多忙と存じますが、子どもたちの学びや経験のために思案してくださること、それを導いてくださる校長先生がいらっしゃることは、加納幼稚園の延長のようで頼もしく感じています。」「（略）実際社会に出てみると学力も必要だが、それ以外にも自分で考え発言したり、表現したりする力も必要になると感じました。ただ学ぶだけでなく自分自身が学ぶことが楽しいからと思える授業が増えていくことを楽しみに思いました。子どもが可愛いし、心配だから手を出したり口を出したりしてしまうが、出し過ぎてしまうのはよくないとわかっていながらつつい出してしまうので、失敗や苦い思いを乗り越えて成長していけるように目を離さず手は出さずにできるようにしていきたいです。（略）」

このような感想をもてる保護者の方々の質の高さを感じました。ありがとうございました。



《11月の保育について》

【3歳児】

○秋の草の実や木の実を集めたり、使ったりして、自然物に興味をもつ。

○好きな遊びの中で、友達と“一緒”を楽しみながら自分の思いを自分なりの言葉で表す。

【4歳児】

○自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いに気付いたりしながら遊びを楽しむ。

○いろいろな素材や方法を取り入れ、自分なりに工夫して遊ぶ。

【5歳児】

○自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊びを進める。

○友達を誘い合って、遊び方やルールを相談しながら考えたり工夫したりすることの楽しさを味わう。



お知らせとお願い

○芸術鑑賞会について

11月6日（水）に、芸術鑑賞会を開催します。5歳児のお父さんを中心とした管弦楽器による演奏です。日頃、本物の生演奏を聴く機会はなかなかないと思います。ぜひ、保護者の方もお越しください、子どもたちと一緒に芸術の秋をご堪能ください。小さなお子様をお連れの場合は、保護者の方の責任の下、見守りをお願いします。もしかしたら大きな音に驚いてしまうかもしれません。

○岐阜薬科大学との交流について

11月20日（水）には、保健指導の一環として、岐阜薬科大学との交流を実施します。昨年度も好評であった、演劇部の学生さんと腰塚教授による「感染症予防のための術やワクチン接種についての劇」を観劇します。保護者の皆様もぜひお越しください。正しい情報をきちんと知り、その上で考えたり判断したりする一歩になるのではと思います。

○制服・体操服販売及び、販売価格について

これまで、幼稚園の指定体操服は体操シャツと体操ズボンを、モリタスポーツさんで販売させていただいておりましたが、今後は、制服取り扱い業者である橘繊維株式会社の方に、変更させていただきます。モリタスポーツさんで購入できるのは、現在の在庫限りとなります。しかし、体操シャツにつきましては、令和7年度からは、白無地（ボタンなどの装飾のないTシャツ）であればどんなものでもよいことにしたいと思います。体操ズボンについては、色や生地、ポケット等の理由により、橘繊維株式会社で取り扱っている物を幼稚園の指定とさせていただきます。

令和7年4月より、制服、制帽、体操ズボン、ネクタイ、替え襟（えり）などが、すべて値上がり（物によって異なりますが、60円～450円程度の値上がり）します。令和7年3月までは、現在の価格で購入できますので、注文されたい方は、事務まで申込をしてください。